

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	伊予市内遺跡発掘調査等事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 5 項 1 目	事業番号	4703	所属長名	泉一人
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	田村政幸	
法令根拠等	文化財保護法、伊予市文化財保護条例				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	生涯学習都市の創造 個性豊かな文化の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	個性豊かな文化の振興						
事業の対象	伊予市内	事業の目的		市内の埋蔵文化財包蔵地を適切に把握し、開発事業において、事業者等とのスムーズな調整を図るとともに、埋蔵文化財を市民に周知する。			
事業の内容(整備内容)	埋蔵文化財の保存調査に係る経費補助	昨年度の課題に対する具体的な改善策					

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)									
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績				
直接事業費	2,654	2,916	0	0	0	2,253	試掘箇所数 包蔵地周辺工事立会数	箇所 回	9	10	1	7				
財源内訳																
国庫支出金		0	0	0	0	0										
県支出金		0	0	0	0	0										
地方債		0	0	0	0	0										
その他		0	0	0	0	0										
一般財源	2,654	2,916	0	0	0	2,253										
職員の人工(にんく)数	1.70	1.50				1.50										
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841										
※ 直接事業費+人件費	15,934	14,678				14,015										
主な実施主体	直接実施 (臨時職員1人を含む。)		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		賃金、報償費、委託 (掘削作業委託)											
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4年度	3,200	5年度	3,200	6年度	3,200	7年度	3,200	8年度	3,200	5年間の合計	16,000
					単位	なし	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度				
成果指標	指標	設定しない	⇒		目標	-	-	-	-	-	-	-				
	指標設定の考え方	定量的な指標では成果を表現できないため			実績	-	-	-	-							
	指標で表せない効果	なし														

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		包蔵地確認に際し、様式を用いた統一的手順で行うことで、申請者が何を注意すべきかを分かりやすくすることができたことで、未届による工事の解消に寄与しているものと考えられる。							
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	Googleマップを用いた包蔵地地図の公開など
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4				
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		包蔵地台帳をもとに、現在までに把握している包蔵地の境界を正確にトレースするのに手間がかかった。
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4				
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4				
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A			
		コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4					
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4					
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業の方向性 所属長の課題認識	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 文化の振興を図るためには、必要な事業である。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5 5 5				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4				
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A			
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4					
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4					
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A				
	コスト効率	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4						
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	4 4 4						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	